

入学試験問題

国 語

100 点満点（50 分）

（注意）

1. 問題冊子及び解答用紙は指示があるまで開かないこと
2. 問題は一～四、解答用紙は別紙
3. 試験開始後、問題冊子表紙・解答用紙に受験番号を記入すること
4. 試験終了後、問題冊子・解答用紙ともに回収

受 験 番 号

一、次の文章を読んで後の問いに答えなさい（字数指定問題において、句読点や「」は字数に含むものとする）。

雑草と呼ばれる植物には、さまざまな共通した特徴がある。その中でも、もともと基本的な特徴は、「弱い植物である」ということだ。^①もしかすると、意外な感じに思えるかも知れない。私たちの周りを見回すと、雑草は強い植物であるような感じがする。「雑草のように強く」という言葉もあるくらいだ。

【ア】

「雑草が弱い」というのは、「競争に弱い」ということである。自然界は、激しい生存競争が行われている。弱肉強食、適者（１）が、自然界の厳しい掟^{おきて}なのだ。それは植物の世界も同じである。光を奪い合って、植物は競い合って上へ上へと伸びていく。

A

、枝葉を広げて、遮蔽^{しやへい}し合うのである。もし、この競争に敗れ去れば、他の植物の陰で光を受けられずに枯れてしまうことだろう。戦いは地面の上だけではない。地面の下では、水や栄養分を奪い合って、さらに[※]熾烈^{しれつ}な戦いが繰り広げられている。植物は穏やかに生きているように見えるかも知れないが、激しく争い合っているのだ。植物は、太陽の光と水と土さえあれば生きられると言われるが、その光と水と土を奪い合って、激しい争いが繰り広げられているのである。雑草と呼ばれる植物は、^②この競争に弱いのである。

【イ】

どこにでも生えるように見える雑草だが、じつは多くの植物が生える森の中には生えることができない。豊かな森の環境は、植物が生存するには適した場所である。しかし同時に、そこは激しい競争の場でもある。そのため、競争に弱い雑草は、深い森の中に生えることができないのである。

雑草は、競争を挑んだところで、強い植物に勝つことはできない。そこで、雑草は強い植物が力を発揮することができないような場所を選んで生えているのである。それが、道ばたや畑のような人間がいる特殊な場所なのだ。森の中にも雑草が生えているのを見たことがある、という意見もあるかもしれないが、それはハイキングコースやキャンプ場など、人間が管理をしている場所である。雑草は、競争に強い植物がある場所には生えずに、そうした強い植物が生えない場所に生えるのである。言ってしまえば、^③競争社会から逃げてきた脱落者だ。

【ウ】

しかし、^④私たちの周りにはびこる雑草は、明らかに繁栄している成功者である。雑草は勝負を逃げているわけではない。土の少ない道ばたに生えることは、雑草にとっては戦いだし、耕されたり、草取りされたりする畑に生えることも雑草にとっては戦いだ。確かに、強い植物との競争は避けているけれども、生きるためにちゃんと勝負に挑んでいるのである。どこかでは勝負をしなければならない。ただ、勝負の場所を心得ているのだ。

【エ】

イギリスの生態学者であるジョン・フリップ・グライムは、植物の成功要素を三つに分類した。それが、「C—S—R三角形理論」と呼ばれるものである。この理論では、植物の戦略はCタイプ、Sタイプ、Rタイプという三つに分類できるとされている。

Cタイプは競合型と呼ばれている。このCタイプは他の植物との競争に強い。いわゆる強い植物である。自然界では激しい生存競争が繰り広げられている。**B**、Cタイプが、必ずしも成功するとは限らないところが自然界の面白いところでもある。自然界には、他の成功戦略もあるのだ。

Sタイプはストレス耐性型と呼ばれている。ストレスとは生育に対する不適な状況である。**C**、植物にとっては乾燥や、日照不足、低温などが生存を脅かすストレスとなる。Sタイプは、このようなストレスに強いのである。

三つ目のRタイプは攪乱依存型^{かくらん}と呼ばれている。攪乱とは文字通り、環境が掻き乱されることである。いつ何が起こるかわからない「攪乱」は、植物の生存に適しているとは言えない。しかし、攪乱があるところでは、競争やストレスに強い植物が必ずしも有利ではない。そうした強い植物が生えないということは、弱い植物にとっては、チャンスのある場所なのである。Rタイプは^⑤この攪乱という予測不能な環境の変化に強い。**D**、臨機

(2) に変化を乗り越える強さがRタイプの特徴なのである。

CとSとRの要素は、すべての植物にとって不可欠なものである。そのため、この三つのタイプは、植物が種類ごとにどれかに当てはまるということではなく、すべての植物がこの三つの要素のバランスを変えながら、それぞれの戦略を発達させていると考えられている。

【オ】

雑草と呼ばれる植物は、このうちの「」の要素が特に強いとされているのである。踏まれたり、耕されたり、草取りをされたりすることは、植物の生存にとって好ましいことではない。しかし、^⑥競争に弱い雑草にとっては、それこそが生存のチャンスなのである。

(稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』より)

語注

※熾烈：勢いが盛んで激しいこと。

問一、
A D にあてはまる語として最も適当なものを次のア～エより選び、それぞれ記号で答えなさい(同じ記号は複数回使用してはならない)。

ア、そして イ、つまり ウ、しかし エ、たとえば

問二、
(1) (2) に最適な漢字二字を補い、四字熟語を完成させなさい(なお、1については文中より抜き出して答えることとする)。

問三、
線部①「もしかすると、意外な感じに思えるかも知れない」とあるがなぜか、最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、雑草は古来から強いものの象徴とされているから。

イ、雑草はすべての人が強いものと考えているから。

ウ、雑草は強い植物という印象が一般の人々には強いから。

エ、雑草は弱い存在ではありえないという印象が強いから。

問四、
線部②「この競争に弱い」とあるが、「この競争」とは何か、次の空欄に本文中の言葉を用いて十字以内で答えなさい。

競争

問五、
線部③「競争社会」とは具体的にはどこのことか、文中から七字で抜き出して答えなさい。

問六、——線部④「私たちの周りにはびこる雑草は、明らかに繁栄している成功者」とあるが、なぜそのように言えるのか、その説明として最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、強い植物が嫌う環境を乗り越えてながら生き抜いているから。

イ、強い植物との争いに敗れても逃げずに生き抜いているから。

ウ、弱い存在と自覚しながらも、たくましく生き抜いてきたから。

エ、弱い存在でありながら強い植物に勝利して生き抜いてきたから。

問七、本文中には次の一文が抜けている。この一文が入る最も適当な箇所を本文中の「ア」「イ」「ウ」「エ」より選び、記号で答えなさい。

そうしてみると、植物にとって、強さとは何なのだろうか。

問八、——線部⑤「この攪乱という予測不能な環境」の例を一つ、本文中より十字で抜き出して答えなさい。

問九、ーに入る最適な言葉を、次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、Cタイプ イ、Sタイプ ウ、Rタイプ

問十、——線部⑥「競争に弱い雑草にとつては、それこそが生存のチャンスなのである」とあるが、「競争に弱い雑草」にとつて何が「チャンス」だといえるのか、「強い植物」「弱い雑草」「環境」という語を用いて五十字以内で説明しなさい。

二、次の古文を読んで後の問いに答えなさい。

(字数指定問題において、句読点や記号は字数に含むものとする。また、設問の都合上一部本文を改めたところがある。)

むかし、男ありけり。女を[※]とかくいふこと月日へにけり。[※]石木に^{いはき}しあらねば、[Ⓐ]心苦しと思ひけむ、[Ⓑ]やうやう[Ⓒ]あはれと思ひけり。そのころ^①六月の[※]望ばかりなりければ、女、身に[※]瘡^{かさ}一つ二つ出できにけり。女、いひおこせたる、「[※]いまはなにの心もなし。身に瘡^{かさ}一つ二つ出できにけり。時もし

と暑し。すこし秋風ふき立ちなむ時、かならず逢はむ』といへりけり。秋まつ⑩ころほひに、こころかしこより、「その人のもとへいなむずなり』とて、
※口舌出できにけり。②さりければ、女の兄、俄かに迎へに来たり。されば、この女、かへでの初紅葉を拾はせて、歌をよみて、書きつけておこせたり。
※秋かけていひしながらもあらなくに木の葉降りしくえにこそありけれ

と書きおきて、「かしこより人おこせば、③これをやれ』とて去ぬ。さて、やがて、④後つひに、今日までしらず。かの男は、※天の逆手をうちてなむ
⑤呪ひをるなる。むくつけきこと。人の呪ひごとは、※負ふものにやあらむ、負はぬものにやあらむ、「いまこそは見め』とぞいふなる。

語注

※ とかくいふこと …… いろいろ口説くこと

※ 石木 …… 岩と木のことで、感情のないものたえとして使われる。

※ 望 …… 十五夜ごろ

※ 瘡 …… できもの。陰暦六月は夏の終わりで、できものなどが出来やすい季節である。

※ いまはなにの心もなし …… 今はあなたのお気持ちに対して何の異存もありません。

※ いなむずなり …… 行こうとしているようだ。

※ 口舌 …… 悪口・非難。女がこの男を夫としようとしていることに対して、周囲から反対が入った。

※ 秋かけていひしながらもあらなくに木の葉降りしくえにこそありけれ

…… 秋になったら、とお約束していたとおりにもならず、その秋が来た途端に、木の葉は散って道につもるだけのはかない御縁でございました。

※ 天の逆手 …… 呪いのしぐさ

※ 負ふものにやあらむ …… 本当に身にふりかかるものなのか。

問一、——線部④「心苦しと思ひけむ」、⑤「あはれと思ひけり」のここでの意味として最も適当なものを次のア～エより選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|--|---|
| ④ | ⑤ |
| ア、気の毒だと思ったのであろうか
イ、息苦しいと感じたのであろうか
ウ、趣深いと思ったのであろうか
エ、気味が悪いと感じたのであろうか | ア、愛するようになった。
イ、かわいそうに思った。
ウ、気をつかうようになった。
エ、しみじみと感じ入った。 |

問二、——線部⑥「やうやう」・⑦「ころほひ」をそれぞれ現代かなづかいに直しなさい。

問三、——線部ア～エの中から、動作主が違ふものを一つ選び、記号で答えなさい。

- | |
|---------------------------------------|
| ア、逢はむ
イ、いへりけり
ウ、書きおきて
エ、いふなる |
|---------------------------------------|

問四、——線部①「六月」について、

- | |
|--|
| 1 別の漢字で書くところのようになるか、次のア～エより記号で一つ選びなさい。
ア、睦月
イ、水無月
ウ、神無月
エ、師走 |
|--|

- | |
|---------------------------------------|
| 2 「ろくがつ」の古文での読み方（陰暦での呼び方）をひらがなで答えなさい。 |
|---------------------------------------|

問五、——線部②「さりければ」について、とは「そうであったので」という意味であるが、ここではどのようなことを指しているのか、最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

- | |
|--|
| ア、気持ちに異存がなかったこと
イ、身体にできものができたこと
ウ、季節が大層暑かったこと
エ、周囲からの非難があったこと |
|--|

問六、——線部③「これ」が指し示す部分を本文中より五字以上十字以内で抜き出して答えなさい。

問七、――線部④「後つひ」とは「以後の消息」という意味であるが、ここではどのようなことを指しているのか、最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、女の行方

イ、手紙のありか

ウ、男の所在

エ、初紅葉の場所

問八、――線部⑤「呪ひをるなる」とは「呪っているということだ」という意味であるが、なぜ呪ったのか。次の文の空欄を五字以上十字以内の口語で埋めなさい。

と約束していたのに、その約束を破ったから。

問九、本文の説明として最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、男は女を口説こうと思っていたが、その思いが叶うことはなかった。

イ、女は身体にできものがたくさんできたため、男と会うことをやめてしまった。

ウ、女の兄は、男が女に会いたいという気持ちを知ったため、女を迎えに行った。

エ、女は和歌を詠むことで自分の気持ちを示し、男へ渡すように言づけた。

三、次の文章を読んで後の問いに答えなさい（同じ記号を複数回使用してもよいこととする）。

グスコブドリは、イーハトーヴの[Ⓐ]大きな森のなかに^①生まれ[Ⓑ]ました。おとうさんは、グスコブナドリという[Ⓓ]名高い木[Ⓒ]こりで、どんな大きな木でも、[Ⓔ]まるで赤ん坊を寝かしつけるようにわけなく切ってしまう人でした。

ブドリにはネリという妹が^②あつて、二人は毎日森で遊びました。ごしつごしつとおとうさんの木をひく音が、やっと聞こえるくらいな遠くへも行きました。二人はそこで木いちごの実をとってわき水につけたり、空を向いてかわるがわる山鳩の鳴くまねをしたりしました。すると^③あちらでもこちらでも、ぼう、ぼう、と鳥が眠そうに鳴き出すのでした。

おかあさんが、家の前の小さな畑に麦をまいているときは、二人はみちにむしろをしいてすわって、ブリキかんで蘭の花を煮たりしました。^⑥ するとこんどは、もういろいろの鳥が、二人のばさばさした頭の上を、まるであいさつ^③するように鳴きながらざあざあざあ通りすぎるのでした。

(中略)

そして、ブドリは十になり、ネリは七つになりました。ところがどういうわけですか、その年は、お日さまが春から夏に白くて、いつもなら雪がとけるとまもなく、まつしろな花をつけるこぶしの木もまるで咲かず、五月になってもたびたびみぞれがぐしやぐしや降り、七月の末になってもいつこうに暑さが^④来ないために、去年播^まいた麦も粒の入らない白い穂しかできず、たいていの果物も、花が咲いただけで^⑤落ちるという具合でした。

(宮沢賢治『グスコブドリの伝記』より 一部改め)

問一、——線部①～⑥について、その単語の品詞名を次のア～コより選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、名詞 イ、動詞 ウ、形容詞 エ、形容動詞 オ、副詞

カ、連体詞 キ、接続詞 ク、感動詞 ケ、助動詞 コ、助詞

問二、——線部①～⑤の動詞の活用の種類を次のア～オより選び、それぞれ記号で答えなさい。また、その活用形もそれぞれ正しい漢字で答えなさい。

ア、五段活用 イ、上一段活用 ウ、下一段活用 エ、カ行変格活用 オ、サ行変格活用

四、次の①～⑩について、——線部のカタカナは漢字に直し、漢字はひらがなで読みを答えなさい(なお、送りがなは不要とする)。

① テンジされている品物を見る。

② センモン家の意見を聞く。

③ 彼の得意なリョウイキの問題だ。

④ コバザびきり仕事だ。

- ⑤ 工場の装置を自由にアヤツる。
- ⑥ 明日の支度を|する。
- ⑦ 柔和な表情。
- ⑧ 速やかに宿題を済ませる。
- ⑨ 水滴を拭う。
- ⑩ 布を裁つ。

— 以下余白 —

履正社高等学校

得 点

--	--

小計	
----	--

小計	
----	--

小計	
----	--

小計

国語解答用紙

二〇二四年度
入学試験問題
履正社高等学校

受験番号

得点

100

8点				2点	3点	3×3点	2×3点	2×2点	4×2点	
問十				問九	問八	問五	問三	問二	問一	
す	っ	環	強	ウ	人	豊	ウ	1	A	
る	て	境	い		間	か		生存	ア	
か	競	で	植		が	な				問四
ら	争	あ	物		い	森			光	
。	相	る	が		る	の		と	2	
	手	な	生	特	環	水	応変	C		
	が	ら	存	殊	境	を		エ		
	い	ば	す	な	問六	奪				
	な	、	る	場	ア	い			D	
	い	弱	こ	所		合				
	こ	い	と		問七	う	イ			
	と	雑	が		エ					
	を	草	困							
	意	に	難							
	味	と	な							

小計
40

3点	5点	3点	4点	3点	3点	2×2点	2×3点
問九	問八	問七	問六	問五	問三	問二	問一
エ	女	ア	か	エ	エ	⑧	④
	が		へ			ようよう	ア
	秋		で				
	に		の				
	な		初		問四 1	⑩	ア
	れ		紅				
	ば		葉		2	みなづき	2×2点
	会						
	お				10		
	う						

小計
35

三			
問二			問一
⑤	③	①	④
イ	オ	ウ	カ
終止形	連体形	連用形	⑧
			ウ
	④	②	③
	エ	ア	オ
未然形	連用形	⑩	
		ア	
			⑤
			キ
1 × 15点			

小計
15

四	
⑥	①
1×10点	
したく	展示
⑦	②
にゅうわ	専門
⑧	③
すみ	領域
⑨	④
ぬぐ(う)	子供
⑩	⑤
た(つ)	操(る)

小計
10